



南アフリカ通信

No.9 (2023.3)

JICA 海外協力隊 (2022 年度 1 次隊)
小学校教育 北川裕介



1～5年生のみなさん、修了おめでとうございます。6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。今、この1年間を、あるいは6年間を振り返ってみると、なんだか長かったようであっという間な気がしますね。たくさん学び、たくさん挑戦し、たくさん笑って泣いて、思い出がいっぱいできましたね。そして、大きく大きく成長したことと思います。

私もこの節目のタイミングで、これまでの日々の暮らしを振り返りながら、今感じていることをみなさんにお伝えしていこうと思います。

当たり前は当たり前じゃない

南アフリカに来て8か月が経ちました。ここでの暮らしも「日常」になりつつあります。来たばかりのころは何もかもおどろいてばかりでした。そんな当たり前じゃない毎日が、今では当たり前になってきています。さて、少しでもここでの暮らしをしょうかいします。



洗たくは手洗い。とても大変です。家族が多いともっと大変。日本も洗たく機がなかった時代はこのスタイル。昔の人を尊敬します。



毎日起きる停電にはとても苦労しています。けれど、外に出ると村の明かりがないので、夕焼けや星空がとてもきれいに見えます。充電式ランブも使えなくなってしまった時は「ろうそく」。ろうそくの火を見ていると、なんだか心が安らぎます。



台所が外にある家庭もあります。料理をする時は火をおこし、食器を洗う時は大きなたらいに水を汲んできて行います。南アのシンクは2つあります。どちらにも水を貯めて、一方に洗ざいを入れて食器を洗い、もう一方ですすぎます。



家の中でもくつで過ごします。玄関でくつをぬぐ文化はありません。最初は土足のまま家の中に入るのをためらってしまいました。



各家庭にはこのタンクが設置してあります。蛇口から水を引いてきて、貯めた水をトイレやシャワー、洗い物をするために使います。料理に使ったり、飲んだりすることはできません。(様々な事情で使わざるを得ない家庭もあります。)

私は、毎週スーパーで水5～10Lを買います。重い水を持って家まで30分歩いて帰るのはとても大変です。



学校から帰るときや休日のときには、子どもたちがおうちの人のお手伝いをしていたり、働いていたりする姿を見かけます。赤ちゃん（妹）のお世話をしたり、畑を耕したり、バスの乗客にフルーツを売ったりしています。生きていくために家族の一員としてがんばっています。

夏(雨季)は蚊帳^{かや}の中で寝ます。この地域は蚊に刺されると、マラリアという恐ろしい病気にかかる可能性があるためです。



家は平屋のおうちが多いです。南アフリカは土地がとても広いので、2階建ての家にする必要がないのだそうです。ほかにも理由はありますが…。



赤土の道を通って、牛やヤギたちと歩くことも今では毎日のこと。お気に入りの景色の一つです。2月は最も雨が多い時期で、道がドロドロだったので、それはさすがに大変でした。

さて、ここでこの暮らしの様子を読んでみてどのように感じたでしょうか。日本で暮らすみなさんにとっての当たり前と南アフリカの人たちの当たり前はちがいます。住む国や地域がちがえば、当然環境もちがうし、生活の仕方や考え方（価値観）もちがってきます。今でも、たびたびそのちがいに戸惑いながらも、「異文化理解」をしている毎日です。

また、国や地域に限らず、昔と今の暮らしで考えてみても、その時の「当たり前」というのはちがいますよね。私が暮らすシロアム村は「開発途上地域」です。なので、昔の日本に少し似ているのかなと感じています。

ただ、どの「当たり前」も共通して言えることは、「当たり前はありがたい（当たり前じゃない）」ということです。

安全な水が使えること、毎日食べるものがあること、健康でいられること、きれいな景色が見られること、友達や家族と過ごせること、そして今こうして修了式や卒業式が迎えられること……。すべてのことに感謝できるといいですね。

さて、4月からまた新たなスタートを切るみなさん。きっといろんな友達と出会うでしょう。どの友達にもそれぞれにそれぞれのよさがあり、それぞれの当たり前（考え方・価値観）があります。時に友達との関わりでうまくいかないことだってあります。そんな時こそお互いの当たり前（考え方・価値観）を理解しようとする、そして認め合い、受け入れることが大切だと思います。決して比べてはいけません。

長くなりましたが、「当たり前は当たり前じゃない」を時々思い出して、来年度も楽しく過ごしてくださいね！！

卒業生のみなさんへお知らせ

この「南アフリカ通信」は岐阜県公式ホームページ「ぎふ国際協力大使からの便り」(<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/7317.html>)にも掲載していただいています。来年度も引き続き更新していくので、ぜひ読んでくれるとうれしいです。南アフリカについて知ってもらえるように、そして世界の課題について関心を持つきっかけになればと思い、書いていきます。

